

PRESS RELEASE

マイクロバイオーム創薬を目指すメタジェンセラピューティクス プレスリリース A にて 1.4 億円の資金調達

腸内マイクロバイオーム*の研究に基づいた医療・創薬を推進するメタジェンセラピューティクス株式会社（本社：山形県鶴岡市、代表取締役社長 CEO：中原拓、以下「MGTx」）は、2022年6月に、株式会社ファストトラックイニシアティブ、ジャフコグループ株式会社および株式会社慶應イノベーション・イニシアティブが運営するファンドから、総額1億4千万円の資金調達を実施しました。

* 腸内マイクロバイオーム: 腸内に存在する細菌叢

本資金調達により、「腸内細菌叢移植療法（FMT）」の社会実装へ向けた腸内細菌叢バンクの立ち上げ、および「腸内細菌創薬プログラムの研究開発」を加速します。

■メタジェンセラピューティクスの事業

メタジェンセラピューティクスは、順天堂大学、東京工業大学、慶應義塾大学の研究者が共同創業し、「腸内細菌叢移植療法（FMT）」の社会実装と、「FMT 起点のリバーストランスレーショナル創薬」を推進しています。

近年、腸内マイクロバイオームの研究は大きく進展し、がん、潰瘍性大腸炎、パーキンソン病、アレルギー等、さまざまな疾患との関連が明らかになっています。研究の進展に伴い、諸外国では、腸内細菌叢移植（FMT）が治療として実施されて、FMT を起点とした創薬研究が活発に行われています。日本においても、国際競争力のある日本発のマイクロバイオーム医薬品の開発を目指し、日本医療研究開発機構（AMED）による「次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業（腸内マイクロバイオーム制御による次世代創薬技術の開発）」が推進されています。MGTx は、同事業の分担機関の一つとして採択されています。

腸内細菌叢移植療法（FMT）とは

腸内細菌叢移植療法（FMT）は、健康な人の便に含まれている腸内細菌叢を、疾患を持つ患者さんの腸に大腸内視鏡を用いて移植し、腸内マイクロバイオームの異常（ディスバイオーシス）を改善する治療法です。順天堂大学では、近年患者数が増加する「潰瘍性大腸炎」^{※1}の患者さんに対して、過去8年間の臨床実績があります。腸内細菌叢移植療法（FMT）の社会実装にあたっては、腸内細菌叢を必要とする患者さんと、腸内細菌叢を提供するドナーをつなぐ「腸内細菌叢バンク」の構築が不可欠です。

FMT 起点のリバーストランスレーショナル創薬とは

腸内細菌叢移植療法（FMT）であらかじめ安全性・有効性が確認できた腸内細菌叢を用いて行う創薬を意味します。通常の創薬では、基礎研究の成果を基に医薬品としての実用化を目指す「トランスレーショナルリサーチ」による創薬が行われますが、FMT 起点の創薬は、臨床上で明らかになったメカニズムを基に研究を行い医薬品の実用化を目指す「リバーストランスレーショナルリサーチ」による創薬です。FMT 起点のリバーストランスレーショナル創薬では、通常のリバーストランスレーショナルリサーチより、さらに安全性・有効性の確率性の高い開発を進めることができます。MGTx は、FMT 起点のリバーストランスレーショナル創薬実現のため、日本初の創薬研究を目的とした腸内細菌叢バンクの構築を進めています。

■ 投資家からのコメント



株式会社ファストトラックイニシアティブ

プリンシパル 二見 崇史氏

国内随一のマイクロバイームサイエンスチームを有しており、FMT および FMT を起点とした創薬事業により社会に新たな医療を届けることを目指すメタジェンセラピューティクス社に引き続き参画できることを大変嬉しく思います。驚異的なスピードで事業が進捗していることに加え、創薬経験豊富な CSO の寺内氏をはじめとした強力なメンバーも加入されました。「いのち」と「くらし」に新たなソリューションを届けるべく、心強い仲間と共に同社の事業推進に貢献して参る所存です。

ジャフコ グループ株式会社

産学・ライフサイエンス投資グループ

プリンシパル 小林 泰良氏

人々の健康を大きく毀損するディスバイオーシスを改善する治療において、マイクロバイーム移植は欧米で普及している代替手段のない治療法です。メタジェンセラピューティクスは中原氏を中心に、各分野で国内トップの実績を持つ消化管内科 KOL・細菌学者・バイオインフォマティシャン・生菌創薬研究者が結集したマイクロバイームのプラットフォームであり、この度はチームに参加できて光栄です。世界のトップランナーだった日本の細菌学から、新たに標準治療を変える革新的な治療法・医薬品を生み出すため、JAFCO は全力で応援していきたいと思えます。

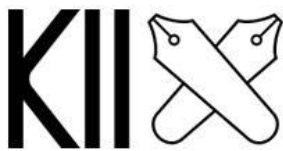


株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ

医療健康領域担当

プリンシパル 鳥居 優人氏

メタジェンセラピューティクスには腸内細菌叢研究の国内のトップランナーが揃っています。このチームであれば、難病に苦しむ全国の患者さんに、FMT という新たな治療手段を届けることができると確信し、追加の出資をさせていただきました。FMT の社会実装、さらにはマイクロバイーム創薬への挑戦にご一緒できることを、大変嬉しく思います。



■代表取締役社長 CEO 中原拓 より



MGTx は「マイクロバイームサイエンスで患者の願いを叶え続けること」をミッションとして 2020 年 1 月に創業しました。順天堂大学、東京工業大学、慶應義塾大学の研究者がアカデミアで培った叡智を社会にインパクトのある形で実装するため、社内外の多くの仲間と連携し事業を推進してまいりました。去年はAMED 事業に採択していただき、本年 4 月からは順天堂大学において MGTx 共同研究講座「細菌叢再生学講座」を開設し、創薬・医療の両輪の事業を推進する体制が充実しました。プレシリーズ A においては、これまでサポートいただいていた大学発ベンチャーに対する投資育成に実績のあるファストトラックイニシアティブと慶應イノベーション・イニシアティブに加え、国内最大手の独立系 VC であり産学連携投資の実績も豊かな JAFCO が新たにメタジェンセラピューティクス仲間として参加してくれました。MGTx は盤石の投資家チームに支えられ、一日も早くマイクロバイーム創薬で患者さんに新たなソリューションを提供すべく邁進してまいります。

メタジェンセラピューティクス株式会社について

メタジェンセラピューティクス株式会社は「マイクロバイームサイエンスで患者の願いを叶え続ける」ことをミッションとして、腸内マイクロバイーム研究に基づいた医療と創薬でソーシャルインパクトを生み出す大学発ベンチャーです。現在メタジェンセラピューティクスでは人材採用を積極的に進めております。募集中のポジションは <https://www.metagentx.com/recruit/> をご覧ください。募集中のポジションに当てはまるものがなくとも、マイクロバイームサイエンスでイノベーションを起こす仲間に入っていただける方は hr@metagentx.com までご連絡ください。

<会社概要>

会社名：メタジェンセラピューティクス株式会社（略称 MGTx）

本社所在地：山形県鶴岡市覚岸寺字水上 246-2

東京事務所：東京都港区虎ノ門 1 丁目 17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー 15 階

代表者：代表取締役社長 CEO 中原拓

設立日：2020 年 1 月 17 日

事業内容：マイクロバイームサイエンスを活用した創薬・医療事業

URL：<https://www.metagentx.com>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

メタジェンセラピューティクス株式会社 広報担当

Email: pr@metagentx.com

出典：

1. 難病情報センターホームページ：潰瘍性大腸炎（指定難病 97）

<https://www.nanbyou.or.jp/entry/62>